

広報

かみごおり

さわやかに歴史と未来の出逢うまち

6月号

1994. No.303
(平成6年6月17日発行)

発行・編集／上郡町役場・広報委員会 ☎2-1111



楽しいこいのぼりづくり

お年寄りとの交流会を開催—上郡幼稚園—

5月16日(月)、上郡幼稚園で地域のお年寄りを招き、園児との交流会が開かれました。

交流会では、子どもの節句をみんなで祝い、お年寄りとのふれあいを深めようと、おじいさん、おばあさんと力を合わせてミニこいのぼりを作り上げました。

園児たちは、さっそく出来上がったこいのぼりを持って、校庭を走り回り大はしゃぎ。全員で記念写真をとるなどの思い出づくりも行われました。

★主な内容

- 6月は環境月間 2～3
- まちの話題 4～8
- 新用途地域制度について 9
- お知らせ伝言板 10～15
- 歴史散歩 16

★人口のうごき(5月末現在、()内は前月比)

- 人口 19,427人(±0)
男 9,326人 女 10,101人
- 世帯数 5,790世帯(+8)

快適な住環境をめざして

新都市で高層住宅建設始まる

このたび、播磨科学公園都市での高層住宅建設にあたり、五月十二日(木)、兵庫県をはじめ関係者約六十人が出席して、工事の安全を祈願しました。

同住宅は、国や民間企業等の研究施設の建設、操業開始にもなう住宅需要に応えるため、来年の秋ごろの完成を目標に、中央交差点北側に建設が進められます。

規模は、鉄骨鉄筋コンクリート造り、十三階建て、延床面積約九千五百㎡で、総事業費約二十五億円。単身者から五人世帯までの用途に合わせ、一DKから四LDKの九十九戸が整備されます。

デザイン設計も、今後建設される建物のお手本となるよう、住宅の中央部に雲をイメージしたルーフトラス(幅十八m、高さ十八m)を設けるなど、未来都市にふさわしい設計となっています。



高層住宅完成模型

孫とのふれあいを楽しむ

梨ヶ原保育所ふれあい交流会

五月二十日(金)、梨ヶ原保育所で、落地と梨ヶ原のお年寄り二十人を招き、子どもたちとのふれあい交流会が開かれました。

当日、子どもたちが歓迎の歌を披露した後、全員で輪になって、しりとりや肩たたきゲームを楽しみました。また、ペットボトルの空き容器を利用しての花の寄せ植えづくりでは、一緒にペチュニア、インパチェンス、

折りづるランなどがきれいに植えられ、それぞれ手に持ち記念写真に収まりました。

これは、地元の方々が気軽に立ち寄り、子どもたちとのふれあいを深める、「開かれた保育所づくり」をめざして行われたもので、お年寄りの方々からは、「緊張したが、ふれあいを通して子どもの尊さを感じた。」、「内孫がないので、大変かわ



寄せ植えを手に記念写真

いらしく、楽しかった。などの好評の声が聞かれました。

ふるさとづくりの拠点に

円心館(河野原)が完成

般公開する予定です。

このほど県指定文化財の赤松三尊像を保存・展示する施設として、「赤松三尊像保存会」(河野千治会長)が建設を進めていた「円心館」が宝林寺北隣りに完成し、五月二十一日(土)、赤松一族の代表をはじめ関係者約五十人が出席し、完成式が行われました。

同館は、木造平屋建て、延面積約九十一㎡、外壁は白壁のしつくい塗りで赤松家の家紋「左みつどもえ」があらわられています。内部は、展示コーナーや資料室、収蔵庫などからなり、今後、資料の収集・整理、周辺整備等を行い、来年の三月に一

般公開する予定です。ここ近年、町民の歴史への関心の深まりとともに、赤松三尊像の保存を求める声も高まり、これを契機に平成四年三月に同保存会が結成されました。そして、このたび町内外の一般の方や会員、全国の赤松氏の子孫など約千二百人からの浄財と町の助成により、約四千五百万円の工事費で建設されたものです。

河野会長から「地元のみならず、町、県のシンボルに発展させたい。」とのあいさつもあり、今後、ふるさとづくりの拠点として期待されます。



完成した円心館



河野会長あいさつ